

子どもの自立生活館茜舎（放課後等デイサービス）自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			2グループに分かれ、適切な人数とスペースで活動ができるよう配慮しています。また、お子さんの要望に応じて過ごすことができるよう、活動場所を確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			安全に、お子さんの主体的な活動が支援できるよう、職員配置を行っています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		スロープや階段等への手すりの設置等、バリアフリー化の配慮を行っています。トイレが狭く車いす使用の場合は使い辛さがあるため改善の検討をしています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			活動前にスタッフミーティングを行い、情報共有やケース検討、改善点等について話し合っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			定期的な面談時の聞き取り、利用者アンケートの実施、おはなしメール便等で保護者の方の意見をお聞きし、業務改善につなげています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人のホームページで公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今年度は第三者評価を実施していません。今後検討していきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職員向けに定期的な内部研修、外部研修を実施するとともに、研修や書籍について情報共有を行っています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ご家族との面談やケア会議の内容、普段の活動の様子等からアセスメントを行い、スタッフ間で協議を行った上で個別支援計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		アセスメントを使った評価は実施していませんが、多職種の入るケース会議を通してアセスメントし、支援に活かしています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			年齢に応じた活動が行えるよう、職員間で協議・検討の上、活動プログラムを実施しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節のイベントを取り入れた様々な社会体験を、お子さんの発達段階に応じて積むことができるよう、プログラムの設定をしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		お子さんの発達段階に応じた活動プログラムに参加して頂けるよう工夫しています。長期休みなど利用が増える状況ではきめ細やかな支援が難しい場面もあります。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			お子さんの要望や状況に合わせて、適宜活動スペースを分けることや、個別支援できるように、計画を作成しています。

適切な支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日、活動前にスタッフミーティングを行いその日の支援内容や、役割分担について確認をしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	支援終了後、特筆すべき出来事についてはその日のうちに責任者と共有し、それ以外の出来事については翌日のスタッフミーティングで確認を行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎日、支援後にはケース記録を記入しています。その内容についてはスタッフミーティングのなかで共有・検討をしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に一度モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		視覚支援の活用、短時間の活動プログラムを組み合わせ、利用者の方が主体的に活動参加できるよう支援しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者や、支援担当者が会議に参加しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		必要に応じて、担任の先生や、特別支援コーディネーターの先生と連絡をとり、情報共有等を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		医療ケアが必要なお子さんを受け入れる際は、ケアの方法や緊急時の対応等を主治医と確認のうえ、連絡体制を確保しています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		利用開始前には、支援の引継ぎを行うほか、支援会議を開催し、利用後も必要に応じて連絡を取り合い情報共有に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		移行に向けての支援会議で情報共有を行うほか、必要に応じて連絡を取り合い情報共有に努めています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		必要に応じて相談をしたり、ケア会議等への参加依頼をしています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	お子さんの要望等により、必要に応じて職員がサポートしながら児童センターの活動に参加するなどの支援を行っています。今年度はご希望がなく行っていません。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		自立支援協議会や事業所連絡会等に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎の際や電話連絡、面談等を通じて、保護者と情報共有を行い、共通理解を図っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		面談等で必要に応じてアドバイスを行うほか、保護者対象の研修会等を紹介するなど情報提供を行っています。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約内容等に変更があった場合には、その都度保護者等に説明をしています。		
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎の際や電話連絡、面談等を通して相談をお受けしています。また必要に応じて必要な助言や、関係機関の紹介を行っています。		
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		父母の会などから問い合わせがあった場合は紹介をしています。法人で行っている保護者向けの研修会のご案内を行っています。	
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に周対応しているか	○				苦情受付窓口を設置し、苦情受付担当者及び苦情解決責任者を配置しています。苦情があった場合には速やかに対応しています。	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○		法人ホームページのブログで活動の紹介を行うほか、年1回法人の会報「森の本」を発行しています。	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○				個人情報に係る同意書を取り交わすとともに、職員に対しては研修等で個人情報の取り扱いについて注意喚起を行っています。	
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				サービス提供記録表に活動時の様子など詳細に記入し、保護者との情報共有をおこなっています。	
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				法人全体で、地域に向けたイベントや学習会等を行っています。	
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○		職員には研修等で周知していますが、利用児童やご家族への周知は十分ではないため、今後進めていきます。	
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				毎年春と秋に2回、避難訓練を行っています。	
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				法人内に虐待防止に関する窓口を設置し、担当者が全職員を対象とした虐待防止研修を行うほか、外部研修の案内を行っています。	
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				身体拘束は行っていません。	
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				○		アレルギーについては保護者から確認した内容を職員間で共有・確認をしながら対応を行っています。医師の指示書は頂いておらず、今後進めてきます。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか				○		事例をもとにスタッフミーティングのなかで共有を行っています。怪我や事故に繋がるケースは状況を整理・検討し、書類に残し共有しています。